

令和4年度 第2回 小平市男女共同参画推進審議会 会議要録

日時：令和4年8月26日（金）午前9時30分～10時05分

場所：市役所 601会議室

1 出席者

小平市男女共同参画推進審議会委員10人（うち6人はオンライン）

2 傍聴者

1人

3 会議資料

- 資料1 小平アクティブプラン21（第三次男女共同参画推進計画）
推進状況調査報告書（案）【令和3（2021）年度実績】
- 資料1-2 小平アクティブプラン21（第三次男女共同参画推進計画）
推進状況調査報告書（案）【令和3（2021）年度実績】修正一覧
- 参考資料1 小平市女性相談カード
- 参考資料2 小平市デートDV防止啓発カード
- 参考資料3 小平市相手との対等な関係つくれていますか？カード
- 参考資料4 こだいらにじいろ電話相談カード
- 参考資料5 小平市男女共同参画センター“ひらく”リーフレット
- 参考資料6 国立女性教育会館 ミニ統計集
- 参考資料7 パパとママが描く未来手帳
- 参考資料8 だれもが輝くとうきょうガイドブック
- 参考資料9 いつか子供がほしいと思っているあなたへ
- 参考資料10 配偶者や交際相手からの暴力で悩んでいませんか
- 参考資料11 多様な性について知るBOOK
- 参考資料12 みんなの人権
- 参考資料13 令和4年度人権（LGBT）講座のご案内
- 参考資料14 小平市男女共同参画広報誌『ひらく』49号、50号
- 参考資料15 小川駅西口地区第一種市街地再開発事業 事業概要
- 参考資料16 小川駅西口公共床の基本設計 レイアウト

4 議題

- （1）小平アクティブプラン21推進状況調査報告書（案）
【令和3（2021）年度実績】の審議会からの意見について

5 記録の作成

地域振興部市民協働・男女参画推進課

6 会議記録（要約）

議題（1）小平アクティブプラン2 1 推進状況調査報告書（案）

【令和3（2021）年度実績】の審議会からの意見について

⇒資料1 小平アクティブプラン2 1（第三次男女共同参画推進計画）
推進状況調査報告書（案）【令和3（2021）年度実績】

資料1-2 小平アクティブプラン2 1（第三次男女共同参画推進計画）
推進状況調査報告書（案）【令和3（2021）年度実績】修正一覧

高木会長：議題（1）小平アクティブプラン2 1 推進状況調査報告書（案）【令和3（2021）年度実績】の審議会からの意見について事務局より説明を。

事務局：資料1と1-2を使い、小平アクティブプラン2 1 推進状況調査報告書（案）【令和3（2021）年度実績】の審議会からの意見について説明する。

- ・7月の審議会での意見を報告書の3ページに掲載。庁内会議の推進委員会、推進本部において報告し、確定した内容として報告する。
- ・全体については、情報発信の仕方について、必要な方に必要な情報が届くよう引き続き検討して欲しいとの意見があった。昨年度からラインでの情報発信が可能となり、各担当部署において、活用をすすめている。
- ・基本目標Ⅰでは、広報誌『ひらく』について、男女共同参画の広報誌であるということが伝わりづらいことに加え、他の情報の中に埋もれてしまうことが課題。配架場所も工夫して欲しいとの要望もあった。創業・起業に関する支援や、コロナ下においても子育てに関する支援については、引き続き推進して欲しいとの意見があった。
- ・基本目標Ⅱでは、女性の就業状況の実態は、離職をしていなくても正規雇用から非正規雇用への変化などの質的な問題は残っているとの指摘があった。今後の事業展開として、就労の質にも着目して支援などを検討して欲しいとの意見。男性職員の育児休業取得について、形だけの取得とならないよう、取得期間の把握や意識づくりのための啓発などに努めるよう要望があった。
- ・基本目標Ⅲの指標「生活困窮者自立支援事業の新規受付人数」について、原因分析を行い、今度の支援につなげて欲しいとの意見があった。DVに関する施策については、成人女性だけではなく、若年層への啓発にも力を入れて欲しいとの意見があった。今年度は例年よりも多くの学校でデートDV防止啓発講座を実施する予定。
- ・基本目標Ⅳでは、災害時のマニュアルの必要性と、発災時、地域に残っている若者に向けて周知する必要があるとの意見があった。
- ・市政運営への女性の参画状況について、委員会の分野によって女性比率の偏りがあるため、各分野で男女比率が50パーセントになることを目指して推進して欲しいとの意見があった。
- ・前回審議会からの修正点は資料1-2参照。
- ・報告書は9月下旬に公表を予定している。

高木会長：議題（１）について、質問等はあるか。

滝澤委員：小平市の女性の就労状況について、正規雇用と非正規雇用の割合を公表してほしい。小平市の現状を正確に把握していくことが大事。非正規雇用をあえて選んでいる女性もいて、夫の働き方によってはそうせざるを得ない現状もある。女性も男性も働き方や意識のあり方を変えていく必要があるのでは。小平市の現状を正確に把握し、分析していくことが大事なのではないか。また性の多様性と無意識の思い込みの解消という観点で、学校の制服の存在そのものが思い込みの解消を阻んでいる要因であると考えている。女子のズボン着用を認める学校もあるが、ルール化することが場合によってはアウトテイングを迫る構造になってしまう。制服の選択肢の幅を広げる必要があると感じている。

学校では緊急連絡先に父親と母親の連絡先を登録していても、母親の方に連絡があると聞いている。教員の思い込みの部分もあるのでは。

意識を変えていく必要があると感じた事例を紹介した。

高木会長：女性の就労状況の公表については前年度も要望があったところ。今後検討してほしい。以上で議題は終了。

令和４年度第２回小平市男女共同参画推進審議会を終了する。